

## 令和3年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>新型コロナウイルス感染症による文化・スポーツ分野への影響を回復し、将来の更なる発展を目指した取組を進めます。</p> <p>また、保護者の経済状況の悪化など困難に直面する高校生・大学生が安心して学業に専念できるよう、支援します。</p>	<p>① <u>新型コロナウイルス感染症により苦境に陥っている文化芸術関係者に対する支援を進めるとともに、「新たな生活様式」に対応した新しい文化芸術活動の取組を進めていきます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化芸術活動の自粛を余儀なくされた文化芸術関係者に対して、活動を継続するための支援を行います。</li> <li>○ 文化芸術に触れる機会を拡大するため、オンライン配信などの「バーチャル」な活動と本物に触れる「リアル」で体験できる機会とのハイブリッド型の文化芸術活動の取組を進めます。</li> </ul> <p>② <u>令和3年7月から開催される東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、サンガスタジアム by KYOCERA等に五輪壮行試合等を誘致し開催の気運を醸成するとともに、府民のスポーツへの関心を高め、自粛などを余儀なくされてきた府内のスポーツ活動等を再び盛り上げます。</u></p> <p style="text-align: right;">＜目標：五輪壮行試合開催：なでしこジャパン国際親善試合＞</p> <p>③ <u>私立高校生や大学生等が、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した等の事情により学業を断念することなく、安心して修学できる環境を確保します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 修学意志のある子どもたちが安心して勉学に打ち込めるよう、保護者の教育費負担の軽減を図る「あんしん修学支援制度」により、私立高校の経済的理由による中退者をゼロにします。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限配慮し、大学生が安心して学業に専念できるように、「大学等における感染拡大予防のためのガイドライン」を適宜見直し、大学等と連携して安心安全な環境づくりを進めます。</li> <li>○ 府内の大学において、「高等教育修学支援新制度」による授業料等の減免や「給付型奨学金」のほか、「貸与型奨学金」や「生活福祉資金貸付制度」などの施策を総合的に活用して大学の相談体制を支援し、大学生の修学環境の確保を行います。</li> </ul>

## 令和3年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
2	<p><b>文化庁の令和4年度の全面的移転を見据えて、京都文化の振興・発展を一層進めます。</b></p>	<p><b>① <u>文化庁の京都移転に向け、オール京都体制で京都の文化を国内外に広く発信します。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域文化や生活文化、障害者芸術など、京都の文化発信を強化する文化芸術発信強化事業などにより、文化庁京都移転を盛り上げる取組を進めます。</li> <li>○ 文化庁が入居する旧京都府警察本部本館の改修及び京都府と共用する新行政棟の建設工事を着実に進めます。</li> </ul> <p><b>② <u>文化首都・京都からの文化振興に取り組み、地域の活性化につなげます。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京都作家マーケット開拓支援 国際的なアート展を11月に初開催し、府域のアートイベントと連携した取組を進めます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;目標：「アートコラボレーション京都」の開催、販売成約額 100,000千円&gt;</li> <li>&lt;目標：「アーティストフェア京都」の開催、販売成約額 40,000千円（R2：37,457千円）&gt;</li> </ul> </li> <li>○ 地域文化を活用した地域活性化プロジェクト 地域に受け継がれてきた祭りや伝統芸能の振興を支える保存会等を伴走支援する文化観光サポーターを配置し、府域全体で地域文化の保存、継承、活用の取組を行い、後継者養成や地域の魅力を発信する取組を進めます。</li> </ul> <p><b>③ <u>京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリアとして、北山エリアの魅力をさらに高めます。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和2年度に策定した「北山エリア整備基本計画」に基づき、旧総合資料館跡地等を活用した「シアターコンプレックス」や府立大学の共同体育館、開園100周年を迎える府立植物園など、北山エリアの魅力向上のための施設整備に向け、事業コストや整備・運営スキームの検討を進めます。</li> </ul>

## 令和3年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
3	<p>スポーツを通じて誰もが親しみ夢広がる社会を実現するため、府民のスポーツへの関心・意欲を高めるとともに、府民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりや地域の交流促進を進めます。</p>	<p>① <b><u>府民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じた地域の活性化に取り組みます。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に府民のスポーツへの関心を高める取組を推進するとともに、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催に向けて、大会のPRや国内外からの参加者拡大に向けた取組等を進め、府民のスポーツへの参加気運醸成やスポーツによる地域活性化に繋がります。</li> </ul> <p>② <b><u>「する」「みる」「ささえる」の観点から府民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックや世界選手権等で活躍した京都ゆかりのトップアスリートを府内の学校やスポーツ施設等に派遣する「京のスポーツ夢バンク」について、積極的に活用していただくとともに、登録者による指導や触れあいを通じて多くの子どもたちがスポーツに対する「夢」や「あこがれ」を持ち、親しんでいただけるようにします。  <small style="padding-left: 20px;">&lt;目標：夢バンク参加者数：1,500名、事業実施数：20件（R2：646人、9件）&gt;</small></li> <li>○ 企業・大学のスポーツ施設を身近なスポーツの場として利用できるよう企業等へ働きかけます。</li> </ul> <p>③ <b><u>サンガスタジアム by KYOCERAを核としてスポーツの裾野拡大と地域のにぎわいづくりに取り組みます。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サンガスタジアム by KYOCERAを舞台として青少年とトップアスリートとの交流を促進するとともに、ニュースポーツやeスポーツのイベント開催や人材育成に取り組み、スタジアムを核としたスポーツの裾野拡大と地域のにぎわいづくりを推進します。</li> </ul>

## 令和3年度 文化スポーツ部 重点目標

	重点事項	成果目標
4	<p>大学・学生との連携・協働による地域の活性化に取り組むとともに、京都府公立大学法人第三期中期目標に基づき、府立医科大学・府立大学の取組を支援します。</p>	<p>① <b>京都の成長戦略の核となる大学の知の資産を活かし、大学・学生と市町村、産業界の連携を進め、地域の活性化と人材育成に取り組みます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学と市町村、産業界との連携を推進する「人・まち・キャンパス連携支援事業」や、大学と情報共有を行う仕組みの構築など、大学との連携による地域活性化と地域に貢献できる人材の育成を進めます。  <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">                     &lt;目標：プロジェクト数：20プロジェクト（R2：9プロジェクト）&gt;                      &lt;目標：参加学生数：延5,000人（R2：延1,042人）&gt;                 </div> </li> <li>○ 京都学生祭典への参加学生数を増加させ、大学間連携を強化するとともに、学生の力による地域活性化を促進し、「大学のまち・京都」の魅力を広く発信します。  <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">                     &lt;目標：参加学生数：2,000人（R2：816人）&gt;                 </div> </li> </ul> <p>② <b>府立医科大学において、機能整備計画の検討を進めます。また、附属北部医療センターにおいて、地域における中核病院としての役割を果たすために必要な医療体制の検討を進めます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学・附属病院において、世界トップレベルの医学を地域へ提供するため、関連病院との機能分担を明確にして、施設全体の機能整備計画の検討を進めます。</li> <li>○ 医療需要・疾病構造の変化への対応など、附属北部医療センターが北部における中核病院としての役割を果たすため、センターの施設整備に向け、医療資源や医療提供体制を踏まえた将来のあるべき姿の検討を進めます。</li> </ul> <p>③ <b>社会課題の解決に向けた研究の推進と人材の育成を図るため、府立大学の新たな教育研究体制の具体化に向けた調査・検討を進めます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育研究体制（学部学科再編等）を検討するとともに、人材需要の動向、学部学科の編成、必要な施設内容、規模の検討など、新たな教育研究体制の具体化に向けた各種調査を進めます。</li> <li>○ 北山エリア整備との整合性を図りつつ、アリーナ機能を備えた府立大学、府立医科大学、京都工芸繊維大学の3大学共同の体育館の整備を進めます。</li> <li>○ 全学横断による農・食・文化に関する研究と教育を一体的に推進するため、大学改革（農・食関連学部・学科の教育研究体制の構築）や食のR&amp;D機能の強化（機能性食材の開発、和食文化の研究・発信による京の付加価値の向上など）を進めます。</li> </ul>